

## 競技注意事項（案）

### 1. 規則について

本競技会は2010年度(財)日本陸上競技連盟及び本大会申し合わせ事項により実施する。

### 2. 練習場について

- (1) 練習は補助競技場で行うこと。陸上競技場での練習は一切禁止とする。また投擲競技が行われている時には、競技に支障をきたさないように練習すること。
- (2) 投擲練習は禁止する。練習は2次招集後に投擲審判員主任の指示のもとで行うこと。

### 3. 招集について

- (1) 1次招集は競技場の室内練習場内の競技者係にて行う。
- (2) 1次招集時刻は以下の通りである。選手本人がこれを行う。また、この時にナンバーカードをつけたユニフォームを提示すること。

種 目	開 始 時 刻	完 了 時 刻
トラック・リレー種目	競技開始 50分前	競技開始 30分前
フィールド種目	競技開始 60分前	競技開始 40分前
棒高跳	競技開始 90分前	競技開始 70分前

- (3) 2次招集は現地にて行う。トラック種目は競技開始10分前、フィールド種目は30分前とする。なお、5000m、3000mSCの2組目以降については、直前の組のスタート後に次の組の招集を行う。
- (4) リレー種目のオーダー用紙は、招集開始の1時間前までに、競技者係に提出すること。リレーの招集は4人とも受けること。
- (5) 同一時間に2種目以上出場する競技者は、招集時間内に重複出場届を競技者係に提出すること（重複出場届は競技者係にて配布する。）尚、出場種目の重複により1次招集に来られない場合は代理人が1次招集を受けなければならない。
- (6) 廃権は原則として認めない。しかし、やむを得ず廃権する場合は競技者係に連絡すること。

### 4. 当日エントリーについて

- (1) 当日参加者は出場を希望する種目が行われる日の招集開始2時間前から1時間30分前までに、競技場室内練習場内の競技者係横、当日エントリー受付に申し出ること。開門時間前から当日エントリーを受け付ける種目に関しては競技場正面玄関前にて行う。
- (2) 当日参加者も1次招集を必ず受けること。
- (3) 当日参加料は1種目1名1000円とする。
- (4) 4×100mR, 4×400mR, 棒高跳の当日エントリーは行わない。
- (5) 競技運営上の都合により、当日エントリーの人数は制限するので注意すること。  
100mなど同種目で開始時刻が異なる種目のエントリーは、最初の組の開始時刻に合わせてエントリーすること。

### 5. ナンバーカードについて

- (1) 平成22年度関西学生陸上競技連盟登録者は連盟登録のナンバーカード  
高体連登録者は高体連登録のナンバーカード  
陸協登録者は陸協登録のナンバーカード  
を胸部、背部に付けること。（但し、走高跳、棒高跳についてはどちらかでよい）
- (2) トラック種目については競技者係で配布する腰ナンバーカードを右腰部に明瞭につけること。また1500m、5000m、10000m、3000mSCについては腰の両側につけること。尚、このナンバーカードはゴール後直ちに回収する。途中廃権の場合も返却すること。

## 6. トラック種目について

- (1) トラック種目は次のラウンドを行わない。
- (2) 全天候舗装のため選手は9mm以下のスパイクピンを使用すること。
- (3) トラック種目は電気計時(1/100秒)にて行う。但し、機器の故障などトラブルが生じた場合、手動計時(1/10)に切り替える場合がある。

## 7. 不正スタートについて

- (1) 不正スタートと判定された競技者は失格となる。
- (2) スタートの号令は英語で行う。
- (3) 不正スタートの判定は目視にて行う。
- (4) 不正スタートの判定の参考資料として、ビデオ撮影を行う場合がある。

## 8. フィールド種目について

- (1) フィールド種目の試技は3回とする。
- (2) 全天候舗装のため選手は9mm以下のスパイクピンを使用すること。但し、走高跳・やり投については**12mm**以下とする。
- (3) 投擲種目はペグ計測とする。練習投擲は原則として2投までとする。ただし投擲審判主任が時間に考慮した上で変更する場合がある。
- (4) フィールド種目において2回目以降を棄権する時は審判員にその旨を申し出ること。
- (5) 男子の砲丸投、円盤投、ハンマー投に関しては大学生・一般者の試技を先に行い、高校生をその後とする。
- (6) 持参したやりを競技で使用する場合は、競技開始1時間30分前に北側用器具庫横にて行う検定に合格したものに限り使用を認める。
- (7) やり・ポールの輸送を希望する者は11日(金)13時00着で競技場に送ること。また返送は各自で手配すること。
- (8) 三段跳の踏切板の位置に関しては男子のみ試合当日に審判・選手で協議した上で決定する。また、女子は9mとする。
- (9) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。尚、ここに記載されている高さより低い高さでの試技は、原則として行わない。

	種目	ピット	練習	試技		
男子	走高跳	A ピット	2m00	1m85	以後 5cm 刻み	
			1m80			
		B ピット	1m80	1m60		
			1m60			
	棒高跳	A ピット	4m30	4m40	以後 20cm 刻み ※4m80 以降 10cm 刻み	
		B ピット	4m00	2m60		
			2m60			
		A ピット	1m60	1m40		
女子	走高跳	1m35	以後 5cm 刻み			
	棒高跳	A ピット	3m40	2m90	以後 10cm 刻み	
			2m80			

- (10) 円盤投、ハンマー投げは補助競技場で行う。

## 9. その他

- (1) 使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用すること。

- (2) 競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- (3) グラウンド以外にはスパイクで立ち入らないこと。
- (4) 器具の破損・紛失については、その選手及び補助員の所属団体、学校より必要代金を徴収する場合がある。
- (5) 競技場のトラック・フィールド内には、審判員・選手・補助員以外の立ち入りを禁止する。
- (6) 競技終了後、選手は指示に従って速やかに退場すること。またその際、大会本部前の通行は禁止する。
- (7) 陸上競技者としてのマナーを著しく逸脱した行為がみられた場合、その選手の所属団体、学校の以後の競技を中止させる。
- (8) 参加者の競技中の発病・負傷に対して、主催者は応急処置以外の責任を負わない。
- (9) 関西学生陸上競技連盟加盟校は割り当てられた学生審判・補助員の派遣をしなければならない。
- (10) フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用後必ず撤去し持ち帰るか所定の場所へ捨てる。
- (11) 開門時間は両日 8 時 30 分、閉門時間は両日競技終了 30 分後とする。
- (12) 当日エントリーの人数によっては競技日程の調整を行う場合がある。
- (13) 車での来場はできるだけ控え、公共の交通機関を利用し来場すること。
- (14) 1 日目、2 日目ともに全競技終了後、主催者の指示に従い速やかに競技場から退出すること。
- (15) 全競技終了後、各団体は周りの清掃をしなくてはならない。ペットボトルのみ競技場 1 階の受付で回収するが、その他のゴミは各自で持ち帰ること。
- (16) 荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切責任を負わない。
- (17) 芝生内はすべて立ち入り禁止とする。
- (18) 競技場内、及び招集場所で携帯電話・音楽再生機器・無線機などの持ち込み・使用を禁止する。
- (19) 雨天練習場は招集場所として使用するため、シート等を使っての場所取りはしないこと。また飲食禁止とする。
- (20) 横断幕及びのぼりはバックスタンドとサイドスタンドのみ認める。テープ等は使用せず、競技終了後すみやかに外すこと。
- (21) 集団応援はバックスタンドとサイドスタンドのみ認める。
- (22) その他、不明な点は主催者まで問い合わせること。

関西学生陸上競技連盟